

国際奉仕について考える



2月は「世界理解月間」に指定されており、ロータリークラブとしては世界平和に不可欠な「理解」と「親善」を強調したプログラム及び活動を実施することになっております。

各テーブルに国際奉仕に関する文献などをコピーしてお配りしました。

ロータリーの第四奉仕部門。ロータリアンが国際理解、親善、平和を推進するために実施する数多くのプログラムや活動を包含するものである。

多くの国際奉仕プロジェクトは、発展途上国の人道的ニーズを満たすことを目的とし、また、異なる国や文化の人々に対する認識を培うことを助長する。

毎週、ワイ・モン・チョー君が例会に参加してくれているので、とても国際色豊で素晴らしい事だと思います。

静岡中央ロータリークラブが考える、国際奉仕の意義や方向性など、具体的にこんなことをやったら面白いということをお話し合っていたきたいと思います。



委員会報告

- ・米山記念奨学会事業（吉川委員長）
ワイ・モン・チョー様
ごあいさつ



確定出席報告(前々回出席報告)

望月徹委員長

月/日	確定出席率	総会員数	出席者合計 (含メイクアップ)
1/20	82.5%	47名	33名(メイクアップ1名を含む)

- ・総会員数47名（出席義務会員32名＋出席免除会員15名）
- ・出席者合計には出席免除会員、メイクアップ会員を含む
～出席率向上へのご協力をお願い致します～

THE ROTARY CLUB OF SHIZUOKA - CHUO DIST. 2620

本稿の担当：久保田 美弘